

# 市政を問う

## 一般質問

3月定例会における市政に関する一般質問は、3月2日、3日に行われ、8人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から会議録でご覧いただけます。(会議録は市議会ホームページに掲載、半田図書館・亀崎図書館に設置します。)

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

### 観光振興を問う



創造みらい半田  
伊藤正興

**問** 平成27年度に観光元年を宣言してから、半田市の観光は、どのように変化しましたか。

**答** 平成26年度の観光入込客数が93万人だったのが、平成28年度は、154万人と増加し、その後も右肩上がりです。また、半田の魅力を発信する新規イベントや寿司店と連携した食の観光など、観光振興と地域経済の活性化につながっています。

**問** 半田の観光が更に充実するには新たな起爆剤が必要です。山車・蔵・南吉・赤レンガの次に何を考えていますか。

**答** 寿司や知多牛にスポットを当てた食の観光は、重要コンテンツとして拡充実施していきます。また、JR半田駅の跨線橋や蒸気機関車、鉄道資料館などの活用を計画しており、新たな半田市の象徴、観光資源としても大きな可能性を秘めていると考えています。セントレアの外国人観光客を半田に誘致

するには、知多バス半田・常滑線の活用が必須だと思いますが、どのようにお考えですか。

**答** セントレアからの観光客の移動手段の一つとして、大切な路線である」と認識しています。



**問** 今回、新たな試みとして、セントレアから知多半田駅までのバス運賃の補助制度を提案しますが、見解を伺います。

**答** 観光施設や飲食店などで割引や片道運賃負担が考えられます。しかし、課題もあり、そもそも需要が見込めるのかといった問題があります。まずは、関係事業者と意見交換し、可能性について研究していきます。

**問** 今後の半田の目指す観光について、具体的な計画や目標等があれば教えてください。

**答** 半田市ならではの観光資源を活かし、一つ訪れても楽しんでいただける、満足度の高い観光の実現を目指します。令和4年度からの産業・観光振興計画で、中長期的目標や具体的な施策を取りまとめいきます。



### 手続きのワンストップで遺族の体力的・時間的負担を軽く



公明党  
坂井美穂

**問** 家族が亡くなられた遺族が市役所で行う手続きにはどのような手続きが必要で、それぞれの窓口はどこになりますか。

**答** 死亡時の手続きとしてはまず、市民課に死亡届の提出と火葬許可の申請が必要になります。例えば75歳以上の方は、高齢介護課や国保年金課で介護保険や後期高齢者医療等に関する手続き、土地や建物を所有している方は、税務課で納税通知書等の送付先の変更、児童手当を受給されていた方は、子育て支援課で受給者の変更など、最大で11課の手続きが必要となり、内容も様々です。

**問** 遺族が市役所で行う手続きにかかる時間はどれくらいですか。

**答** 死亡届が出された場合、市民課での事務処理に約40分を要しています。その後の関係各課での手続きの時間は、例

えば75歳以上で土地や建物を所有している方は、高齢介護課での介護保険の手続きに約20分、国保年金課で後期高齢者医療や年金の手続きに約40分、税務課で送付先の変更などに約10分の合計1時間50分が必要となります。

**問** 松阪市では死亡に伴う手続きを包括的に受付・案内・相談できる窓口「おくやみコーナー」を設置することで市民の満足度が向上しています。半田市においても設置すべきであると思いますが、市長のお考えをお聞かせください。

**答** 半田市では様々な届出の簡素化を図っておりますが、死亡に関する届出については足りないと認識しております。また、お年を召された方については、図面だけでの窓口案内では難しい場合もあるため、窓口までご案内するなど、市民に寄り添った対応が必要であると思えます。「おくやみコーナー」については、できる限りのことを一度検討し、早急に対応したいと思います。



松阪市おくやみコーナー

